

デイサービスひかり です。



施設外観



機能訓練室 1

機能訓練室 2

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、利用者様である要介護者等の意思及び人格を尊重して、常に利用者様の立場に立ったサービスの提供に努めております。
- ・事業所の職員は、利用者様がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上のお世話及び機能訓練を行うことにより、利用者様の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者様の御家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目指しております。
- ・地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業所及び他の居宅サービス事業所並びに、その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供するものとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めております。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

アポロキアサービス株式会社 デイサービス ひかり
住所：〒985-0087 塩竈市伊保石 6-8
電話：022-385-5010 / ファクシミリ：022-385-5011

塩釜
地区

リハビリネットワーク通信

第27号

(平成31年4月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

- Q. 利用者様との一番印象深いエピソードを教えてください。
(通所介護事業所ZEN)
- A. 利用者様とその家族、またリハビリテーションを実施する指導員とのリハビリテーションに対する温度差を感じたことです。利用者様は『体力をつけたいから、沢山運動したい』、御家族様からは『年齢が年齢だからね、運動は控えめでお願いします』との御要望があります。また、御家族様は『最近足腰が弱ってきているのでできるだけ歩かせてほしい』との御要望があり、利用者様からは『私は運動なんかしなくても歩けるから大丈夫だ!』と言われます。
- リハビリテーションに携わっていれば、誰しもが経験することだと思います。利用者様の意志を尊重しながら御家族様の要望に答えることがベストなのですが、その二つが相反する場合は利用者様と御家族様にどう寄り添うのかとても苦慮します。
- 特定のエピソードではありませんが、上記のことが常に感じていることです。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～

次回：ケアビレッジしおがま
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

- Q. リハビリを拒否する利用者様に対してどの様に接していくか、またリハビリを促していくか教えてください。

リハビリ川柳

「リハ室に 着いて早々 横になる」(機能訓練スタッフ)

【解説】身体の痛みや辛さからか、運動するよりもリハビリベットで横になって休みたい、そんな訴えをされる利用者様の様子です。

「衰えが 嫌でもリハは したくない」(機能訓練スタッフ)

【解説】身体の痛みや衰えを訴える利用者様に、運動の必要性を説明したときに帰ってきた、利用者様の本音です。

「頑張ろう 千里のリハも 一歩から」(機能訓練スタッフ)

【解説】通所介護では、その結果が利用者様に見えづらい側面があると思います。利用者様もリハビリスタッフも長く継続するための忍耐と工夫が必要ですね。